

はじめよう「アクアクララで備蓄水」

エネジン株式会社 アクアクララ事業部

フリーダイヤル0120-141-032



1日に必要な飲料水は1人3リットル

災害時など、人間が生きていく為に必要な飲料水の量は1人1日約3リットルとされています。

日本給水タンク工業会の東日本大震災後のアンケート結果によると、被災地での応急給水車の到着日数は震災後の2～3日目が比較的多くこの日数がお水の備蓄日数の目安となりそうです。

アクアクララのレギュラーボトルは1本12リットルのお水が入っており、これは4人家族1日分の備蓄水となります。各ご家庭で家族の人数、備蓄水の必要日数を決めてお水の備蓄計画を立てましょう。



家族人数と備蓄日数から必要備蓄水量の早見表(1人1日3L換算)

	1日間	2日間	3日間
1人	3L (1/4本)	6L (1/2本)	9L (3/4本)
2人	6L (1/2本)	12L (1本)	18L (1本と1/2本)
3人	9L (3/4本)	18L (1本と1/2本)	27L (2本と1/4本)
4人	12L (1本)	24L (2本)	36L (3本)
5人	15L (1本と1/4本)	30L (2本と1/2本)	45L (3本と3/4本)
6人	18L (1本と1/2本)	36L (3本)	54L (4本と1/2本)
7人	21L (1本と3/4本)	42L (3本と1/2本)	63L (5本と1/4本)
8人	24L (2本)	48L (4本)	72L (6本)



アクアクララは使いながら備蓄しましょう

市販のペットボトルでお水の備蓄をする場合、気に掛けなくてはいけないのがお水の賞味期限。このペットボトルを倉庫などに置きっぱなしにしていると、気づいた時には「賞味期限が切れていた！」などの問題が発生することもある。

ウォーターサーバーのアクアクララで備蓄水を始める場合は至って簡単。必要なボトルの備蓄本数を決め、未開封のボトルが備蓄本数を下回りそうになった時に次のボトルを注文する。このサイクルを守れば、簡単に災害時の備蓄水の運用を始めることができます。

また、アクアクララの賞味期限はボトルを未開封の状態、製造日から6カ月(180日)です。

アクアクララで備蓄水を始める場合は、賞味期限が古いボトルから使うようにしてください。

参考：自宅の備蓄水を最低3本とする場合、未開封ボトルの在庫が3本になったら次の3本を注文する。

ボトル納品



備蓄分ボトル



日常使用





停電でも使えるアクアクララのウォーターサーバー

アクアクレール、アクアスリムは万が一の停電時でもお水を出す事ができるアクアクララのウォーターサーバーです。

電気が通っていないので冷たいお水、温かいお湯は出てきませんが、いつもの操作で災害時の飲料水を出す事ができます。

また緊急時には、ボトルのキャップを外してお水を出す事もできます。



ボトルに取っ手が付いて移動もラクラク

アクアクララのウォーターボトルには取っ手が付いているのでいざという時も簡単にお水を運ぶことができます。

また、ボトルスタッカーなどお水を備蓄するには便利なグッズも揃っています。

お部屋の隅っこなど空いたスペースを有効活用して、災害時の備蓄水をアクアクララではじめませんか。

